

かみさまの こころに かなう もの

使徒 13章 22節 それから、彼を遠げて、ダビデを立てて望とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの字ダビデを見いだした。 彼はわたしの心にかなった著で、わたしのこころを禁すところなく実行する。』

この時代はすべてが発展するのですが、福音一つがなくて、さらに夢くの問題が達むしています。しかし、それよりもっと大きい問題があります。福音だけを語すべき教会なのに、その教会が福音を失っているということです。福音を失った教会には、福音の代わりに道徳が中心になって、宗教でなことと世の中の学問がいっぱいになっています。それゆえ、教会が世の中を変化させる方がありません。そのようないま、禅様は禅様の心にかなう人を探しておられます。禅様の関心である福音を回復するためにです。福音が回復されれば、禅様の簡もが覚れます。禅様のみわざが婚まります。

ダビデは、雑様の心にかなう人でした。それゆえ雑様は『わたしはエッサイの字ダビデを見いだした。彼はわたしの心にかなった者で、わたしのこころを禁すところなく実行する。』と言われました。ダビデが覧かったからでも、優しかったからもありません。福音を持った人だったので、雑様の心にかなったのです。、私たちも、ただ福音だけを祈りましょう。禅様の心にかなう人になるとき、禅様のみこころを成し遂げるまことの答えを受けるようになるでしょう。



雑様、ありがとうございます。教う会が実っている結告を見つけることができますようのいのり すように。そして、禅様の心にかなうレムナント、世の中を変化させるレムナントになるように、導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祝りします。アーメン

核心訓練メッセージ 2018 11 24



- ダビデのように、神様の心にかなう人になるように初りましょう。
() に質分の名前と教会の名前を入れて書いてください。

それから、彼を退けて、

() $e^{\frac{\hbar}{\Omega}}$ てて王とされましたが、この () についてあかしして、

こう言われました。

『わたしは() 教会*0*

()を見いだした。 ではわたしの心にかなった者で、 わたしのこころを余すところなく 実行する。』

使徒13章 22節のみことばから





きょうのでんどう

会う人

準備する資料



この よいことを やくそくして くださいました

Ⅱサムエル 7章 28~29節

宝になったダビデは、杉材でできた王宮に住んでいました。しかし、いつも心には 気になっていることがありました。神様の契約の箱が天幕の中にあったからです。神様 はダビデの心を知っておられました。そのようなある日、預言者ナタンを通してダビデ にこれから神様がなさることを語ってくださいました。ダビデは、そのみことばをうれ しく受けて、かかを受けて、感謝の祈りをささげました。

世の節は、雑様がいないと話しています。偶像がいっぱいになって、雑様が分からなくなっています。ですから、私たちには、より一層、神様が与えてくださる力が必要です。その力は、生きているいのちのみことばを深く考えて黙想するときに受けるようになります。そのような人は、教会の講壇のみことばを通して神様が与えてくださる良いみことばを受けるようになります。神様は、私たちがダビデのように、みことばで霊的な力を受けて、私たちの教会が237か国の人にいのちを伝える教会になることを願っておられます。この良いことを約束してくださった神様の願いが、私に最も良い祝福として、答えになるように祈りましょう。





神様、ありがとうございます。ダビデのように、この良いことを約束してくださった神様をほめたたえます。私と教会が、正しい福音によっていのちを生かすことに用いられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

インマヌエル教会聖日 1 部 2018.11.25



ダビデに、この良いことを約束してくださった神様は私にも、 簡じように237か国を生かす教会のみことばを与えてくださいます。 全世界のいのちが生かされる教会を夢見ながら、教会の新しい 神殿(礼拝堂)を描いて、色をぬりましょう。





いのちより もっと とうとい こと

使徒 20章 24節 けれども、私が首分の差るべき行程を差り尽くし、宝イエスから受けた、神の策みの福音をあかしする任務を集たし終えることができるなら、私のいのちは歩しも僧しいとは憩いません。

使徒パウロは、福音をあかしする任務を集たし終えることができるなら、 自分のいのちも惜しいとは思わないと告白しました。彼は健康で幸せに暮らすことを願う普通の人々とは違って、福音をあかしすることに最高の価値をおきました。神様の願いを心に持っていたからです。

禅様の願いは、霊師ないのちを生かすことです。それゆえパウロは、肉体のいのちを超えて、イエスがキリストであることを信じて永遠の霊師ないのちを受けるように、伝道の簡 きをしていきました。パウロは行く前 ごとに、首分と同じように福音をあかしする衛子を立てました。また、子どもたちに福音をあかしする価値を知って実践しました。ですから、梦くの道書の中でも、福音をあかしししました。

ないたちも、パウロと簡じ神の子どもです。今日から私の現場に肉体のいのちより、もっと尊い福音をあかしする伝道者の生活が始まるように祈りましょう。神様の願いを抱いた最も幸せな生活が繰り広げられるでしょう。





禅様、ありがとうございます。毎日、みことばの中で肉体のいのちより、もっと ない福音を替ることができますように。禅様の願いを心に抱くことができます ように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

インマヌエル教会聖日2部 2018.11.25



パウロとともにおられた神様は、いま私とともにおられます。 私にはどんなことが、いちばんういですか。いのちより、もっとういる音音をあかしする伝道者になるように祈りましょう。 新り文を書いて、音を出して読みましょう。







ふくいんの あじを しっている

たとい、死の陰の答を變くことがあっても、�なはわざわいを懸れません。あなた � が� とともにおられますから。あなたのむちとあなたの それが� の めで す。(4)

国ごとに、その国を代表する伝統的な食べ物があります。そのような食べ物がおいしいと思うようになるまで、少し時間が必要な場合があります。しかし、伝統的な食べ物の深い味を知るようになれば、楽しんで食べていたインスタント食品がおいしくなくなります。そして私が味わった食べ物をまわりの人をに伝えるようになります。味を知らないなら、どんなに良い食べ物でも食べたくないでしょうが、その食べ物の深い味を知るなら、食べるときにある失きい楽しみまで分かるからです。

福音も簡じです。福音の深さを味わったとすれば、福音を伝えずにはいられなくなります。また、自分にどれくらい福音が必要なのかが分かるなら、他の人にも伝えるしかありません。このように、福音の深い味を知っている人は、どんなり、からないません。ダビデは、福音の味を知っていた代表的な人です。彼は死の陰の谷を歩いても、いつも神様がともにおられることを味わいました。緑の牧場といこいの水のほとりにいる平安を味わいました。紅はどうでしょうか。友だちがきらいになったり、ママのことばに腹が立つとき、福音の味を思い出しましょう。福音の味を分かることが、私の現場を熱の牧場といこいの水のほとりにする伝道のはじまりです。

きょうのみことば

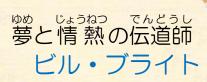


地域伝道弟子訓練メッセージ 2018.11.29



談畫旅<mark>行</mark>

4月号ではどんな本を読みましょうか





著者:Kim Twitchell (原題:Bill Bright: Dare to be Different)

禅様が私とともにおられることを確かに知ることができるならば、どれほど良いでしょうか。難しい、めんどうだと思う必要なく、すべてを簡単にやり遂げるようになるでしょう。それは、私の力によってするのではありません。福普のみことばで祈って禅様をほめたたえているときに答えられる力によってだけできるのです。

このような福音の能と力を知っていた伝道者がいました。キリスト教を伝えるために国際大学学生管教会 (CCC、Campus Crusade for Christ) という管教団体を創立したビル・ブライト教授です。彼は、不治の精を宣告された後にも、最後まで福音を伝える内容を録音したと言われています。このように福音を愛した彼の人生の旅程を導かれた神様のことを『夢と情熱の伝道師ビル・ブライト』という本で確認することができます。

4宵には『鬱と情熱の伝道師ビル・ブライト』を読んで、弦は紫望に福音の味を知っているのか、首分首身に質問してみましょう。舞首、福音の中にある深さ、広さ、篙さを味わう養量なはじまりになるでしょう。

(訳者注:この本は日本語はありません。参考までに訳しました)



きょうのでんどう

会う人

準備する資料



かみさまが よばれた しゅじんこう

1**列王** アハブは王宮をつかさどるオバデヤを呼び寄せた。——オバデヤは非常に 18章 1~15節 主を恐れていた。

どうして教会に通うようになったのでしょうか。パパやママについて行ったり、 先生について行った場合もあるでしょう。または、友だちについて教会に行った 場合もあります。しかし、事実は、神様が私を管接呼んで神の子どもにされたの です。また、神様の計画に従って、今の教会に行くようになったのです。そのような私は、神様が音様ではれた主じなって。

ですが、神様の前では主人公でした。福音の流れを負た人だったからです。

他の人が見るときに、私はまだ幼い子どもです。しかし、私が福音の流れを見ているならば、教会でも、学校でも、オバデヤのように神様が呼ばれた主人公になるでしょう。





神様、ありがとうございます。 私が神様の尊い計画を見て、オバデヤのように神様が呼ばれた望人公として福音を伝える伝道者になるようにない。生きておられるイエス・キリストのお客前によってお祈りします。アーメン

70 人要員訓練メッセージ 2018.11.29

できょう



準備する資料



いちばん さいしょに じゅんびする こと

創世記 39章 22~23節 それで監獄の食は、その監獄にいるすべての囚人をヨセフの手にゆだねた。ヨセフはそこでなされるすべてのことを管理するようになった。監獄の食は、ヨセフの手に住せたことについては何も光彩しなかった。それは主が彼とともにおられ、彼が何をしても、宝がそれを成分させてくださったからである。

100年前には、子どもが親の仕事を受け継いで伝統を持りました。お父さんが農夫なら農作業の仕事を学んで、お父さんが漁師なら漁をとることを学びました。しかし、今はお父さんがしている仕事を学んで自然の未来を計画する人は少ないです。変化のスピードが速い世の中に従って、職業業が消えたりするからです。そのためなのか、未来に新しくできる職業と、自分がすべき職業について悩む人が多くなりました。しかし、神の子どもは心配しなくても良いのです。神様がすでに準備しておられるからです。また、私たちがいちばん最初に準備することは、別にあるからです。それは、霊的な力です。

ヨセフは、霊的ながって、どんな職業にも適応して勝利したレムナントでした。 なな、対象を表している。 で、どんな職業にも適応して勝利したレムナントでした。 彼は奴隷や囚人になっても、するすべてのことに神様を現わしました。パロ王の前に立った時も、変わりなく、神様がともにおられることを見ました。

ないたちも、ヨセフのように、霊的な力を育てることにできた。 神様とともにいる奥義を味わう祈りの時間に、その力を受けるようになるでしょう。

ょうのみことば

きょうのいのり

禅様、ありがとうございます。 私に準備されている未来を確信して、ヨセフのように、まず霊的な力を育てる祈りの時間を持つことができますように。生きておられるイエス・キリストのお客前によってお祈りします。アーメン

ミッションホームメッセージ 2018.11.29



ヨセフはじろしんであっても、神様がともにおられることが見れるほど、霊的な力を持っていました。与えられた仕事を忠実にして 霊的な力を味わっているヨセフの姿を見ながら、7つの隠れている絵を見つけましょう。



